



## 南城に展示 発電効率PR

脱炭素社会の実現に向けた事業を推進する沖繩CO<sub>2</sub>削減推進協議会が、次世代太陽電池「ペロブスカイト」の屋外展示場を南城市内に設置した。従来の太陽電池も展示され、発電効率の違いを知ることができる。

雨の日でもペロブスカイトがLEDを発光させることをPRする沖繩CO<sub>2</sub>削減推進協議会の瑞慶覧長会長（左）と知念勇喜副会長

21日、南城市

曇りや雨の日でも発電ができ、同協議会は1キロボットの発電効率が従来品の最大約1・5倍となることを確認。中国メーカーの製品をモリベニ（那覇市）が輸入し、同協議会が県内の特約店を務める。

従来の太陽電池がシリコンを使うのに対し、ペロブスカイトは鉛やヨウ素、臭素などが原料。複数のタイプがあり、展示品はガラス基板に吹き付けて製造す

## CO<sub>2</sub>削減推進協が設置

る。

従来の太陽電池の製造過程では1400度の温度が必要だったが、ペロブスカイトは100度程度に抑えられるため、製造によって発生する二酸化炭素の排出量も抑えられる。

また、従来品はリサイクルに高額な費用がかかるため処理は地中に埋設することが多いが、協議会が展示するペロブスカイトはガラスとしてリサイクルしたり産業廃棄物として処理したりできる。

21日は雨雲で屋外でも薄

暗い状況が続いたが、展示場ではペロブスカイトとつながったLEDがしっかりと発光。従来品の太陽電池とつながったLEDはほとんど光らなかった。

協議会の瑞慶覧長会長は「県内ではまだ認知度が低いですが、現物を見て違いを知ってほしい。設置の際には環境省の補助金も活用できる」と話した。

展示場の住所は南城市玉城前川546の2。見学は自由。問い合わせは同協議会、電話098(9888)6301。(政経部・銘対一哲)